災害対策特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	杉　久武（公明）	太田　房江（自民）	塩村　あやか（立憲）
理　事	足立　敏之（自民）	加田　裕之（自民）	水岡　俊一（立憲）
理　事	長峯　誠（自民）	佐藤　啓（自民）	宮崎　勝（公明）
理　事	吉川　沙織（立憲）	野村　哲郎（自民）	室井　邦彦（維新）
理　事	矢倉　克夫（公明）	馬場　成志（自民）	小林　正夫（民主）
	岩本　剛人（自民）	元榮　太一郎（自民）	武田　良介（共産）
	小野田　紀美（自民）	小沼　巧（立憲）	（会期終了日　現在）

（1）審議概観

第202回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

第201回国会閉会後の**７月28日**、令和２年７月豪雨による被害状況等について、武田内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した後、質疑を行い、令和２年７月豪雨による災害に関する防災担当大臣の所見、公共土木施設等の被害への権限代行制度を始めとする国の対応状況、被災した旅館やホテルを避難所として活用するための取組、避難指示と避難勧告の一本化に向けた検討状況と今後の見通し、線状降水帯を起因とする降水量の予測技術を向上させる必要性、川辺川ダムを含めた球磨川の抜本的な治水対策の検討、防災省の設置に対する防災担当大臣の見解、多くの市町村で居住誘導区域に浸水想定区域が含まれる中での都市防災の推進策、男女共同参画の視点による防災対策、令和２年７月豪雨による災害への対策予算の確保と被災地方公共団体への財政支援の在り方、被災地方公共団体への人的支援の必要性と現業職員の増員、災害査定に係る事務の簡素化を進める必要性、災害ボランティア活動の現状とその不足による復旧の遅れへの懸念、生活支援相談員による在宅避難者等への見守り支援の必要性、応急修理と応急仮設住宅使用の併用を可能とする要件及びその周知方法、義援金の差押禁止を恒久化する法律の必要性、想定外の豪雨災害が常態化する中での水災害への取組方策に対する防災担当大臣の所見、要配慮者の避難の実効性の確保、被災者生活再建支援制度の適用基準の緩和の必要性、災害の実情に合わせた観光業の支援の在り方の見直しなどの諸問題が取り上げられた。

第201回国会閉会後の**８月26日**、質疑を行い、医療施設等に対する再度災害防止に資する復旧支援及び補助率かさ上げの必要性、被災地方公共団体の災害対策本部に薬剤師を配置することの是非、高齢者・障害者等の要配慮者の逃げ遅れ防止対策、被災者の生活と生業の再建に向けた対策の着実な推進、コロナ禍での自然災害における県外ボランティア受入れに対する見解、危機管理体制の確保に資する政府専門機関創設の必要性、特定非常災害の指定対象となる災害の明確化、防

災行政無線等の情報伝達手段の整備状況、警戒レベル見直しに当たり警戒レベル相当情報との関係を整理する必要性、農地・農業用施設等の災害復旧事業について再度災害防止を前提とした運用の必要性、緊急時の河川管理施設の操作員への指示体系の在り方、流域治水への転換の推進及び河川整備計画の見直しの見通し、被災した三川ポンプ場の復旧方針及び全国の排水設備の機能強化を加速する必要性、危険な地域に所在する介護施設等の把握及び垂直避難に資する補助制度の周知の必要性、災害廃棄物等の撤去及び家屋の解体業務への支援策、避難行動要支援者ごとの個別計画の作成を法定化する等避難の実効性の確保策、被災者生活再建支援金の支給対象を半壊及び一部損壊世帯へ拡大する必要性、非常用発電機等の燃料備蓄の持続的な備えに資する取組、「なりわい再建補助金」の具体的内容及び適用要件、流域治水プロジェクトの策定見通し及び実効性確保に向けた防災担当大臣の見解などの諸問題が取り上げられた。

第201回国会閉会後の**９月９日**、令和２年７月豪雨による被害状況等の実情調査のため、熊本県に委員派遣を行った。

９月16日、前記委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

（２）委員会経過

〇令和２年７月28日（火）（第201回国会閉会後第１回）

・政府参考人の出席を求めることを決定した。

・令和２年７月豪雨による被害状況等に関する件について武田内閣府特命担当大臣から報告を聴いた後、同件、被災自治体への財政的及び人的支援に関する件、被災者の住まいの確保に関する件、災害関連義援金に係る差押禁止に関する件、要配慮者の避難の実効性確保に関する件等について武田国務大臣、藤川財務副大臣、平内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

馬場成志君（自民）、足立敏之君（自民）、古賀之士君（※）、吉田忠智君（※）、宮崎勝君（公明）、矢倉克夫君（公明）、室井邦彦君（維新）、武田良介君（共産）

〇令和２年８月26日（水）（第201回国会閉会後第２回）

・政府参考人の出席を求めることを決定した。

・災害廃棄物の処理に関する件、要配慮者の避難の実効性確保に関する件、災害ボランティアに関する件、災害時の情報伝達に関する件、流域治水への転換に関する件等について武田内閣府特命担当大臣、加藤農林水産副大臣、政府参考人及び参議院事務局当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

本田顕子君（自民）、加田裕之君（自民）、吉川沙織君（※）、舟山康江君（※）、矢倉克夫君（公明）、宮崎勝君（公明）、音喜多駿君（維新）、武田良介君（共産）

〇令和２年９月16日（水）（第１回）

・特別委員長を選任した後、理事を選任した。

・派遣委員から報告を聴いた。

〇令和２年９月18日（金）（第２回）

・災害対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

〇令和２年９月９日（水）

・令和２年７月豪雨による被害状況等の実情調査

〔派遣地〕

熊本県

〔派遣委員〕

杉久武君（公明）、足立敏之君（自民）、長峯誠君（自民）、吉川沙織君（※）、宮崎勝君（公明）、室井邦彦君（維新）、武田良介君（共産）

※ 立憲・国民．新緑風会・社民